

EPA看護師候補生 受け入れ事例

H31年3月19日

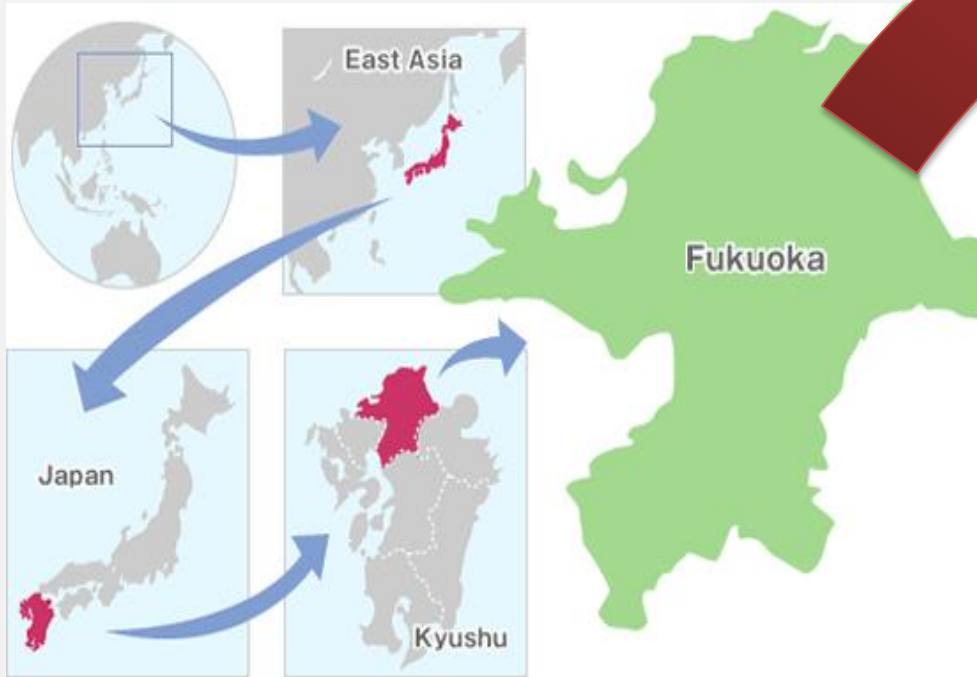
飯塚病院

長岡 由起

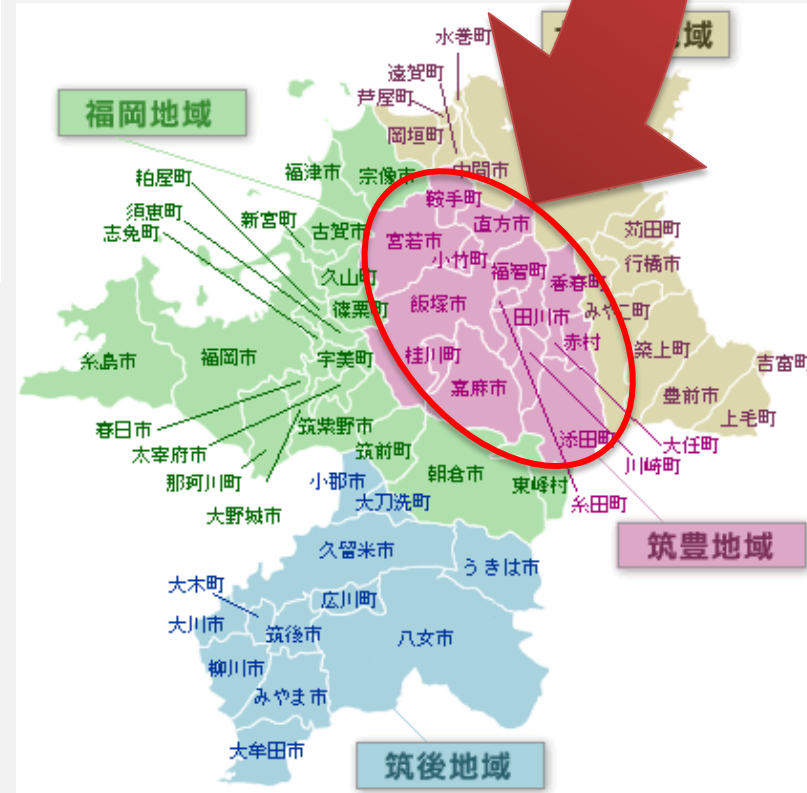
本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
4. 学習支援
5. モチベーションの維持
6. 今後の課題

飯塚市紹介



**福岡県のほぼ中央に位置します
周囲は山々に囲まれた盆地です**



飯塚市紹介



博多駅から飯塚病院まで、JRで約50分

飯塚市の人口: 129,144人 (平成30年4月現在)

高齢化率: 30.7% (平成30年10月1日現在)

1. 飯塚病院概要

■ 開設: 大正7年(1918年) 8月

■ 診療科目: 41科・部

■ 病床数: 1,048床

■ 職員数: 2,357名

・医師 311名

・**看護師 1,038名**

・医療技術者 519名

・事務・その他 489名

■ 平均在院日数: 13.8日

■ 地域医療支援病院

(2019年2月1日現在)

100年の感謝を心に新たな100年へ



飯塚病院 経営理念

We Deliver The Best.

まごころ医療、まごころサービス、それが私達の目標です

院長方針

2018年度 飯塚病院事業計画テーマ

「届けよう“100年のまごころ”、そして踏み出そう新たな100年へ」

看護部理念

豊かな感性を持ち、人を理解し、尊敬し、暖かい心で接する

看護の目的

看護の質の向上のために

“自ら考え、自ら行動する先取りの看護”を実践し、
ベッドサイドケアの充実をはかる

本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
4. 学習支援
5. モチベーションの維持
6. 今後の課題

2. EPA看護師候補生受け入れの経緯

EPA看護師候補生受け入れの当院の目的

- EPA看護師候補生に対して職員が思いやりを持ち、“まごころ”で接する「思いやり文化をはぐくむ」環境を作ることができる
- 優秀で勤勉で明るい外国人と一緒に就労することで、職員に対してグローバルな、良い影響を与えることができる
- 看護師資格取得後、日本と母国とのブリッジ人材として両国の交流及び医療・看護の発展に貢献する
- 3年以内の看護師国家試験の合格を第一の目標とし、外国人教育と生活支援のノウハウを取得できる

2. EPA看護師候補生受け入れの経緯

■ 平成21年～23年

フィリピン人看護師候補生3名受け入れ

→ 3名とも“必須問題”2～3点不足で不合格

状況設定問題等は、意外に点数はとれていた

フィリピンNsには、3年以上日本に残るという

選択肢がなかった

■ 平成28・30年

ベトナム人看護師候補生2名受け入れ

フィリピンNsにとって
日本語力の理解と
解釈が難しかった

2. EPA看護師候補生受け入れの経緯

H28年ベトナム人看護師候補生

- H28年 5月 ベトナムで日本語検定N3取得後来日
- H28年 8月 当院就労
- H28年12月 日本語検定N2取得
- H29年 2月 第106回看護師国家試験受験(1回目)
- H30年 2月 第107回看護師国家試験合格(2回目)
- H30年 4月 病棟配属(救急病床)

2. EPA看護師候補生受け入れの経緯

H30年ベトナム人看護師候補生

- H30年 5月 ベトナムで日本語検定N3取得後来日
- H30年 8月 当院就労
- H30年12月 日本語検定N2取得
- H31年 2月 第108回看護師国家試験受験(1回目)

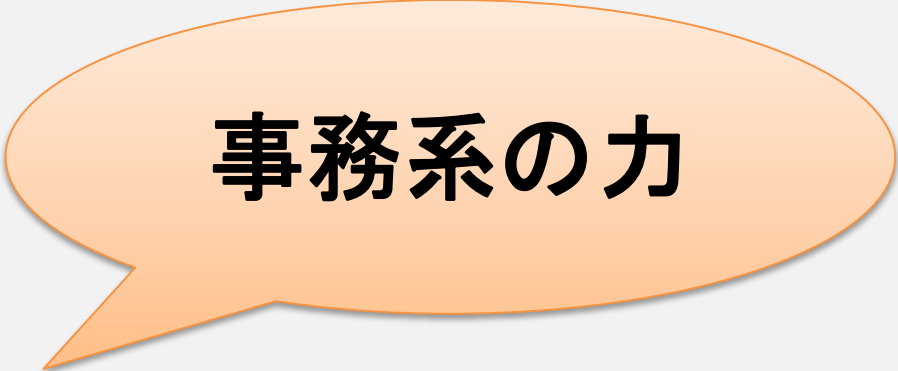
本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
4. 学習支援
5. モチベーションの維持
6. 今後の課題

3. 受け入れ準備

各種手続き及び生活支援内容

- 入国後各種支払い手続き
 - あっせん手数料支払い
 - 滞在管理費支払い
 - DOLABへの手数料支払い
 - 日本語研修実施機関へ研修経費支払い
 - JICWELSへ経費支払い
 - 看護導入研修に関する支払い



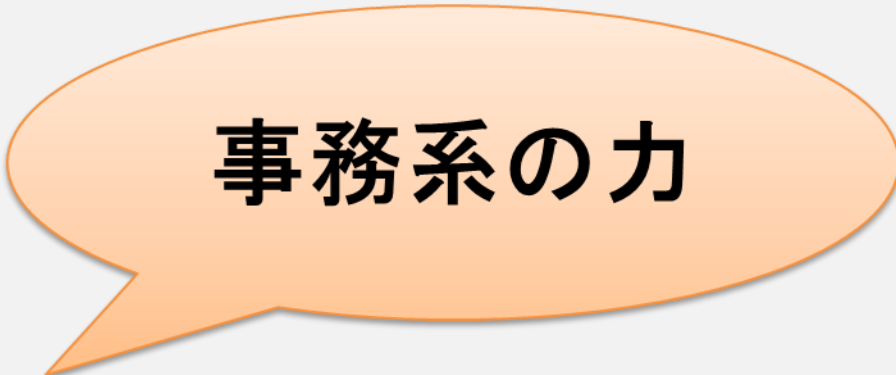
事務系の力

3. 受け入れ準備

各種手続き及び生活支援内容

■生活支援

- 住居(寮)の準備
- 生活用品準備
- 市区町村役場へ転入届の提出と口座開設
- ハローワークへ雇用保険被保険者資格の取得届・外国人雇用状況の届出



事務系の力

本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
- 4. 学習支援**
5. モチベーションの維持
6. 今後の課題

4. 学習支援

H28年ベトナム人看護師候補生

- 学習支援は**当院OG2名**で担当
 - 自己学習中も質問できる体制へ
(支援者が学習場所を訪問)
 - 臨床経験＝学習の場
 - 臨床の学習受け入れ体制づくり
 - 看護学生と模試を経験
 - 安心できる学習環境の確保
- ◎**学習支援者、候補生が共通認識を持ち学習できること**



ひとりにしない
いつも誰かがそばにいる
居場所があるという安心感

4. 学習支援

H28年ベトナム人看護師候補生

■ H28年

5月 ベトナムで日本語検定N3取得後来日

8月 当院就労

8月22日～11月 麻生国際交流センターにて日本語研修

12月4日 日本語検定N2取得(合格)

12月5日～ 整形病棟で就労開始(午前勤務・午後学習)

■ H29年

1月～ 当院看護師OG2名による学習支援開始

2月19日 第106回看護師国家試験受験(雰囲気慣れるため)

4. 学習支援

H28年ベトナム人看護師候補生

■ H29年

3月～ 当院看護師OG2名による学習支援継続

5日/週・・・病棟勤務

・うち2日/週・・・看護師OGによる学習支援(3時間/日)

・半日/週・・・自己学習

4月～ 国家試験対策

・JICWELSによる学習支援

・模擬試験受験・・・4回/年(看護学生と同じ教室で)

■ H30年

2月18日 第107回看護師国家試験受験(合格)

4. 学習支援

H28年ベトナム人看護師候補生

就労体制とスケジュール

■ H30年

4月～救急病床配属

- ・新人看護師との相違点と受け入れについてスタッフに説明(師長)
- ・プリセプター2名選抜(焦らず穏やかに話しかけてくれる中堅看護師)
- ・看護技術習得を中心に勤務
- ・電子カルテの操作、記録の読み取り、専門的な処置の介助等

5月～スタッフと一緒に、患者1名を受け持つ

- ・「記録を書くことに自信がない」という本人の言葉からチェックリスト系の記録から始める
- ・土、日祭日の勤務も行う
- ・現在、夜勤勤務に入るため調整中

本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
4. 学習支援
5. **モチベーションの維持**
6. 今後の課題

5. モチベーションの維持

院内外国人・職員との交流



5. モチベーションの維持

大学での講義風景



大学生と✌



5. モチベーションの維持 (国家試験合格後)

- 候補生の意向と強み(心電図)を活かした救急病床に配属
- 新人研修参加(同期との絆で共に育つ)
- プリセプター2名(本来は1名)の支援体制
- 過去の経験や能力を活かし積極的な看護実践

とてもうれしい！先輩
看護師の仕事を学び、
患者さんの役に立て
るように頑張りたい

西日本新聞記事抜粋

ベトナム人看護師 誕生

飯塚病院のハーさん 国家試験合格

「患者の役に立ちたい」

飯塚市の飯塚病院で働くベトナム人のチャン・ティ・トゥー・ハーさん(29)が、師国家試験に合格した。経済連携協定(EPA)に基づき看護師候補生として、6年8月に飯塚病院へ。EPAに基づき同病院に勤務した外国人で、国家試験にたのはハーさんが初めて。ハーさんは「とてもうれしい。先輩の看護師の仕事を患者さんの役に立てるように頑張りたい」と意気込みを語った。

ハーさんはベトナム中南部のラムドン省出身。ホーチミン医科大学卒業後、看護師として、同大病院の集中治療室(ICU)で4年間働いた。EPAにより、日本が看護人材を受け入れることを知り、「日本

の技術を学びたい」と、年間、日本語の勉強を日した。

受け入れ先の飯塚市は、看護師候補生は、日本語学校に

飯塚市芳雄日、開院100周年を記念に、同市を、同市のコ

同病院は1働者や家族を坑病院として講座は毎年開0周年を記念に楽しんで

看護師国家試験に合格し、飯塚病院の病棟で働くハーさん



本日の流れ

1. 病院紹介
2. EPA看護師候補生受け入れの経緯
3. 受け入れ準備
4. 学習支援
5. モチベーションの維持
6. 今後の課題

6. 今後の課題

国家試験対策

■ 国試問題が解ける日本語力

＞ 日本語検定N2レベルの日本語力



国試対策に特化した日本語の習得

■ 国試合格に特化した学習支援



6. 今後の課題

就労の継続

- 看護記録を書けるようになる
- 専門知識、看護ケアの方法を身につける
- 日本語の上達

ご清聴ありがとうございました

